

<b>1. 評価対象事務事業</b>		シート作成日	平成25年7月19日
事業名	小児医療費助成事業	担当課・係名	子育て支援課 子育て支援係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	13
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	平成8年度

**2. 事業の概要**

目的 (何のために)	入通院にかかる医療費の補助により、乳幼児の健全な育成及び保健の向上に寄与するとともに児童福祉の増進を図る。				
対象 (誰を・何を)	未就学児及び中学卒業までの児童（所得制限あり）に対し、医療費の補助を行う。				
内容	小児に対し、通院にかかる医療費の自己負担分を助成し、子育て世代の経済的支援を行った。 ・通院対象・・・0歳から小学校卒業まで（0歳児は所得制限なし） ・入院対象・・・0歳から中学校卒業まで（0歳児は所得制限なし） ・0歳児以外の小児については、児童手当特例給付に準じる所得制限を設定。（平成18年7月から）				
根拠法令・条例等	大磯町小児医療助成に関する要綱				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	81,347	80,374	81,540
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円	22,546	21,575	22,631
	起債	千円			
	その他	千円			50
	一般財源	千円	58,801	58,799	58,859
	職員人数 (概算職員数)	人			0.62
	人件費計 (b)	千円			2,238
総事業費 (a)+(b)	千円	81,347	80,374	83,778	
事業費内訳 H 25 年度	印刷製本費・消耗品 123,000円 手数料 1,993,000円 医療費扶助費 79,424,000円				

**3. 指標値の推移**

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 助成対象者数	人	2,663	2,701	2,661
	②	件			
活動指標 (活動量)	① 医療費助成額	円	79,307,626	78,304,890	79,424,000
	②	円			
成果指標 (達成度等)	① 1人あたり医療費	円	29,781	28,991	29,847
	②	円			

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	神奈川県から国保連合会へ審査委託をし、現物給付を実施している。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	ほとんど現物給付であるため、町民の利便性がよく、事務の複雑な償還払いは少量となっている。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	安心して医療機関へ受診できるため、生活に関する不安が減少する
効率性	・コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	国保連合会による現物給付が主である。審査手数料の単価の下がっている。ただし、医療証の発行にある程度の時間を要している。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	県下では所得制限を撤廃するなどの動きもあるが、ニーズに合わせた補助対象の見直し等の継続した検討は必要である。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b> 件数、医療費総額が増加傾向にある。無料のため多受診の問題もあるので、県下での検討を続けていく。また、医療証を即日発行できるようにする。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
② 平成26年度に着手する事項
③ その他（課題、調整事項等）

#### 6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

県内の状況を踏まえ、ニーズに合わせた補助対象の見直し等の検討を行っていく。
---------------------------------------